

## 各分野の功績が認められ表彰

～優良老人クラブ連合会表彰 平成22年度県税納税知事表彰  
交通死亡事故ゼロ1,500日達成感謝状～



表彰された相内連合会会長

11月16日(火)から17日(水)の2日間にわたり、仙台国際センター(仙台市)を主要会場として、第39回全国老人クラブ大会が開催されました。

東通村老人クラブ連合会(会長相内亀)からは相内会長が出席され、17日の式典において、優良老人クラブ連合会表彰を受彰されました。

今回の表彰は、東通村老人クラブ連合会の、牧場まつりや健康まつりでの、郷土料理の出版をはじめとした、これまでの活動が認められたものであります。

相内会長は「日頃の活動の中では、楽しい事だけでなく悩みや苦勞も多いが、受彰を励みに、高齢者の生きがい活動の更なる活性化に繋げていきたい」と語っていました。

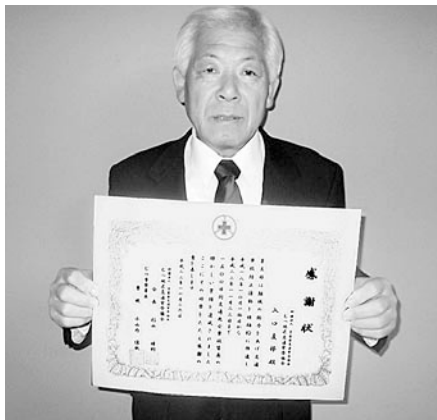


越善村長に受賞の報告をする  
青木さん(左)

11月16日(火)、ラ・プラス青い森(青森市)にて、平成22年度県税納税知事表彰が行われ、当村より青木光彦さん(稲崎)が表彰されました。

今回の表彰は、青木さんが永年にわたり、稲崎納税貯蓄組合長として連続完納に尽力し、村納税貯蓄組合連合会副会長としても、運営活動に対し積極的に協力している功績が認められ、表彰されたものです。

表彰の報告を受けた越善靖夫村長は「これまで地域の納税に対し尽力いただきありがとうございます。今後も益々のご活躍を期待いたします」と感謝の言葉が述べられ、青木さんは「これからも地域で協力して、納税意識を広めていきたい」と話していました。



表彰された青木支部長

この度、むつ地区交通安全協会入口支部(支部長青木光彦)が、交通事故防止活動を積極的に推進し、平成18年10月14日から平成22年11月22日まで交通死亡事故ゼロ1,500日を達成したことから、11月26日(金)、むつ市内で行われた平成22年度むつ地区交通安全指導隊研修会において、青森県交通安全協会並びにむつ警察署より感謝状が贈られました。

表彰を受けた青木支部長は、「今後も更に記録を伸ばせるよう、関係者と協力し合い、交通安全活動を活発にしていきたい」と抱負を述べていました。

積雪や凍結路面でのスリップ事故が多発する時期です。みなさんも交通安全を常に心がけ、交通事故の無い村を目指しましょう。